＜学校の教育目標＞
自律 尊重

神岡中学校だより 令和7年6月号
桜ケ丘

＜合言葉＞
つなぐ 願いをもって
相手と心を、考えを
自分の今と将来を
地域と思いを、未来を

生徒たちによる自主的・自治的な活動で、より良い神中を

校長 深山 学

スローガン『願いをつなぐ ～思いを行動に～～頑張る仲間を支える・応える～』のもと、生徒会執行部は様々な場で『より良い神中に』と話しながら、強い願いをもって意欲的に活動しています。

その一つが生活目標の設定です。これまでは教師が決めていましたが、生徒会執行部と学級長による会議を新設し、生徒たち自身で決定するように変更しました。教師側の考えや願いはもちろん、各学級からの意見によって議論を重ねており、第2期からは生徒たち自身が決定した目標により、生活の改善を目指す自治的活動を展開していきます。

もう一つは、生活の手引き（校則）に関する取り組みです。

先日、執行部メンバーが、生活の手引きについて考えたい、話し合いたいと私に熱く語ってくれました。「今の時代に合っていないのでは」「書いてあるけど、形骸化している」「こんなことは、自分自身や家族で決めることでは」といった思いが以前からあったようです。

その重要性から、私からは主に以下の点について話しました。

- 生徒会会員の総意であること。
- 様々な方とも熟議を重ねる必要があり、下級生に引き継ぐ場合もあること。
- 願っている『より良い神中に』と、どうつながるのか明らかにすること。

少し戸惑った様子でしたが、頷きながら聞く生徒たちは引き締まった表情をしていました。また、生徒会長の山本結巴さんは「お家の方や地域の方の意見も聞きたい。」と話してくれました。

後日、PTA本部役員の皆さんにお越しいただき『生徒会執行部と語る会』を開催する予定です。まず、生徒会各委員会の取り組み説明や生活の手引きに関する提案をお聞きいただき、ご意見を伺います。保護者という立場からのお話によって、生徒たちが生活の手引きについて考える視点が広がるはずです。どうぞよろしくお願いいたします。

生活の手引きに関する取り組みは、生徒たちにとって貴重な経験になるものと捉え、今後も丁寧に継続して見守りながら、生活の手引きが設定されてきた背景についても見つめ考えていけるよう指導していきます。

また、PTA 総会でお話ししたように、もっと子どもたちの力を信じて良いと、私は考えています。そして、子ども扱いしない姿勢を今後も大切にしていきます。

本校生徒会の規約には、『全校生徒の生活の改善や福祉を目指す活動』と、その目的が記されています。

執行部員が、範を示す真のリーダーとして活躍しながら、全校生徒の生活の改善や福祉（幸せ）を目指し、全校生徒による自主的・自治的な活動を展開することで『より良い神中』を実現してくれることを心から願っています。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様にはご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

日	曜	７月の行事予定	部活	バス
1	火		○	17:00
2	水	⑤薬物乱用防止講座(2年生)	○	16:30
3	木		×	15:55
4	金	奥津 O.T.来校 1期終了　　　　［神岡 G.R.］	○	16:30
5	土	中体連地区大会(剣道)		
6	日	中体連地区大会(陸上)		
7	月	2期開始	×	14:50
8	火	全校研究会(3年1組　国語)	×	14:50
9	水		○	16:30
10	木	ｼﾞｭﾆｱﾊﾟﾗﾒﾃﾞｨｯｸ研修 奥津 O.T.来校	×	15:55
11	金	谷口 S.C.来校　［神岡 G.R.］	○	16:30
12	土	中体連地区大会(卓球、軟式野球、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ)		
13	日	飛騨吹奏楽ｺﾝｸｰﾙ(吹奏楽) 中体連地区大会(軟式野球、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ)		
14	月	［神岡 G.R.］	×	14:50
15	火	家庭科「着付け教室」(2年生) ⑤先輩と語る会(3年生)	○	17:00
16	水	⑤⑥短歌教室(2年生)	○	16:30
17	木	①体育祭団決め集会 ⑥ﾊｲﾊﾟｰｶﾐｵｶﾝﾃﾞ講話(1年生)	×	15:55
18	金	①命を守る訓練 ②全校集会　　［神岡 G.R.］	×	13:50
19	土	中体連地区大会(ｻｯｶｰ)		
20	日	中体連地区大会(ｻｯｶｰ、ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ)		
21	月	中体連地区大会(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ) 夏季休業日開始(～8/25) 海の日		
22	火	益田清風高校 O.C.　　三者懇談(希望制)		
23	水	飛騨高山高校 O.C.　　三者懇談(希望制)		
24	木	飛騨高山高校 O.C.　　三者懇談(希望制) 飛騨神岡授業体験(2年生)		
25	金	吉城高校 O.C.　高山工業高校 O.C. 中体連県大会(卓球、陸上、剣道) 三者懇談(希望制)		
26	土	高山工業高校 O.C. 中体連県大会 (陸上、卓球、剣道、ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ)		
27	日	中体連県大会(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ、ｻｯｶｰ、ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ) 県吹奏楽ｺﾝｸｰﾙ岐阜東部地区大会(吹奏楽)		
28	月	中体連県大会(軟式野球) 飛騨神岡高校 O.C.		
29	火	中体連県大会(軟式野球、ｻｯｶｰ)		
30	水	斐太高校 O.C. 中体連県大会(軟式野球、ｻｯｶｰ)		
31	木	中体連県大会(軟式野球)		

6/10 MSJ リーダーズ任命式

「MSJ リーダーズ任命式」が行われ、全校の３分の１以上にあたる４９名の生徒が参加しました。

生徒代表の高松和恵さん（３年生）が「神岡中から地域へ元気を届けたい」と挨拶し、地域の方からも「中学生の元気な挨拶が嬉しい」との声をいただきました。

6/16～20 ふるさと挨拶運動

飛騨神岡高校の生徒とともに、神岡小学校の玄関前で「ふるさと挨拶運動」に参加しました。

中学生と高校生が、しゃがんで小学生と目線を合わせ、笑顔でハイタッチをしながら交わす挨拶は、心あたたまる素敵な時間となりました。

小学生とのふれあいを通して、改めて「挨拶の力」や「人と人とのつながりの大切さ」を感じ取っていました。

問い・願いから始まる『探Ｑ学習』

【1年生:飛騨市探Ｑ】

【2年生:企業クエスト】

【3年生:未来探Ｑ】

『探Ｑ学習』が本格始動しました。

１年生の『飛騨市探Q』では、神岡の歴史や自然、文化にふれ、「もっと知りたい」「人に伝えたい」という願いを強くしました。

２年生の『企業クエスト』では、地域でご活躍されている皆様から、神岡町の現状や課題について教えていただき、協働してその課題解決を目指します。

３年生の『未来探Q』は、アイデアを創造し、整理する力を高めながら、実社会につながる探究を進めています。

※６月１５日(日)神岡町公民館で『飛騨市少年の主張大会』が開催され、清水理子さん（３年生）と蒔田実音さん（３年生）が本校を代表して出場しました。二人の主張作文を掲載しました。是非、ご一読ください。

改めて考える「当たり前」

神岡中学校　３年　清水　理子

あなたは今､幸せですか｡と問われたとき､あなたはどう答え　ますか。

以前、私が何気なくテレビを見ていると、世界の幸福度調査において、日本は幸福度指数が諸外国に比べて低いというニュースが流れてきました。なんとなく、「私の幸福度は７０パーセントくらいかな。」と考えたことを覚えています。先進国である日本で暮らす日本人の幸福度が低いのはなぜなのでしょう。私の推測ですが、二つの要因があると思います。一つは、日本人の文化の中に、謙虚・謙遜というものが強く根付いているからだと思います。そしてもう一つは、日常生活の便利さ、豊かさに慣れきってしまっていて、自分が幸せであることを認識していない、という点もあると思っています。

私の日常生活の中心には、部活動が大きくありました。私は、バレー部に所属しています。チームメンバーにも恵まれ、勝利という同じ目標に向かって互いに励まし合って練習したりなんでもない話をして笑い合ったり、本当に楽しく部活に取り組めていました。

しかし、昨年度末、私の日常生活は大きく変わってしましました。６時間の授業を終え、下校しようとしていた時でした。左膝に激痛が走り、立っていることもままならず、教室の床にうずくまってしまいました。今まで経験したことのない痛みで、友達や先生が「どうしたの。大丈夫。」と声をかけてくれましたが、返事すらできないほどでした。すぐに病院に搬送され、診断を受けることになりました。痛みの原因は、左膝蓋骨の脱臼。私の膝にはまだ痛みがありましたが、その後の医者の言葉の方が、私にとって痛いものでした。「しばらく、運動はできませんね。４月になっても、リハビリを頑張っていく必要があると思います。」本当にショックでした。バレーの大会の直前だったからです。ケガの内容は事実として受け入れられました。しかし、部活動で大会に向けて努力してきたことが、たった一日で消えてしまった気がして、涙が止まりませんでした。行き場のない悲しみや怒り、後悔があふれてきたんだと思います。

苦しい生活が始まりました。今まで当たり前にできていたことが、できなくなりました。まず、歩いて登下校ができません。毎日、親に車で送ってもらいました。歩けないことも歯がゆかったし、親に迷惑をかけていることもわかっているのに、素直に感謝を伝えられない自分自身も情けなく思っていました。学校では、体育の時間がいちばん辛かったです。私は体育が大好きなので、本当は仲間と一緒に体を動かしたいのに、一人で見学することしかできませんでした。頭では、仕方ないと思いつつも、どこかで悔しさを感じていました。移動教室のときも、友達がいつも一緒に寄り添ってくれて、嬉しさと申し訳なさが混ざった複雑な気持ちでいました。

こんな生活を続けている中、ふと、幸福度指数のニュースを思い出しました。あの頃の私はケガもしておらず、何一つ不自由なく生活していたはずなのに、どうして７０パーセントの幸せだと思ったのだろう。今の私から見たら、あの頃の私は１００パーセント幸せな人に見えます。そして改めて考えると、今の私の幸福度は、そんなに低くないのでは、と考えられるようになりました。確かに、足のケガによって大会に出られなくなったり、生活が不便になったりしましたが、家族が本当に私のことを大切に思ってくれていることや、友達がずっと私のことを気にかけてくれていることは、私にとって嬉しい気づきでした。

幸せは、身の周りにありふれているからこそ、気付きづらいのだと感じます。何か、きっかけがあると、改めて自分の幸福度について考えられると思います。私にとって、このケガは大切なことに気づくことができたきっかけでした。今、私の話を聴いてくださっている皆さんにとって、これがきっかけになれば嬉しいです。

私のケガは、まだ完治していません。ですが、私は、１００パーセント幸せです。

最後にもう一度尋ねます。

あなたは今、幸せですか。

これまでの私、これからの私

神岡中学校　３年　蒔田　実音

どうしてあの人はあんなに自由なんだろう。どうしてこの人はこんなに真面目なのかな。

人によって、性格は違う。自分以外の人と接することで思うことも、人それぞれ違う。性格の違いによって、ずれが起きて衝突したり、意気投合して大切な人になったりすることもある。人間関係はジグソーパズルに似ている。得意や不得意、性格やこれまで築き上げてきた価値観など、一人一人違う形を持っている。そのピースの形がぴったり合う人と出会ったとき、居心地の良さを感じ、信頼できる関係を作ることができると思う。だからこそ、私は今まで、性格が違う人、合わないかもと思う人とは出来るだけ関わらないようにしてきた。相手と衝突し、険悪な関係になってしまうのが嫌だったからだ。

小さい頃は、誰とでも関わることができていた。公園に行って、知らない子と遊んだことも何回かあった。自分の心と体が成長するにつれて、自分以外の人の性格がわかるようになってきた。すると、急に親しくない人と関わることが怖くなった。自分とは絶対に合わないと思う人がいると知ってしまったからだ。そして、私はだんだんと自分で「合わないかも」と判断した人とは深く関わらないようになってしまった。

そうなってしまったことで、普段の生活にも弊害を感じるようになった。授業中の意見交流で、あまり話さない人と一緒になった時は、「怖い」「うまく話さなきゃ」という思いばかりが浮かんできて、結果的に声が小さくなり相手を困らせてしまうことが起こるようになった。

ほかにも、何人かが話している中に自分から入ることができなくなった。話している人に用事があっても、「今話しかけたら嫌な気持ちにさせるかな」と言う考えが先にきてしまい、話しかけるタイミングを失ってしまうようになったのだ。

けれど、そんな私を変えたのは一人の友人だった。別の友人に紹介されて彼女と出会った私は、最初は「自分と違うタイプの人だな」と、いつものように積極的に関わることを諦めていた。けれど、何度か関わるうちに彼女の色々な面が見えてきた。

今まで私が避けてきたのは、自由だったりマイペースだったりする人だ。私はどうしても時間や期限が気になり過ぎてしまう。だから、自分のペースで動いている人に対して、つい急かしてしまいそうになる。けれど彼女は、私が焦りすぎていたり心配しすぎたりしていると、いつも落ち着かせてくれる。それだけではない。普段はマイペースだと思っていた彼女だが、私が悩んでいると静かに寄り添って話を聞いてくれる。おかげで、悩んで苦しい時も一人で抱え込むことなく彼女に相談して、気持ちが楽になることができた。

もちろんいいことばかりではない。彼女は自分のペースで動いているだけなのに、私がそれに対してイライラしてしまい、喧嘩になることもある。けれど、すぐに自分の悪かったところを考えて、仲直りすることが多くあった。彼女と長く一緒にいるからこそ、お互いの意思を尊重しなければ、この関係は続かないと思うようになってきたからだ。お互いに相手を大切にしようとしているから、今までこの関係が続いているのだと感じている。

私には、性格が真逆の友人がいる。それでも一緒にいられるのは、自由さだけではない彼女の優しさや気遣いを知っているからだ。

私は、彼女のおかげで、前よりも多くの人と関わろうとすることができている。相手のことを知ろうともせずに自分で自分の世界を狭くしていた自分から、少しずつ変わろうとしているのだ。これからも、たくさんの人に出会うだろう。人生はジグソーパズル。何もしなくても、自分にぴったりと合う場所や人にきっと出会える。しかし、この経験からパズルの形を決めつけず、相手への気遣いや優しさを持ち、少しずつパズルの形を変えることも大切だ。これからの私は、これまでの自分の形に捉われず、もっと自由に形を変えていくのもいいのかもしれない。性格が真逆だけど、友達になった彼女に教えてもらったことを忘れずに過ごしていきたいと思う。